

技術資料

# すこやか ノビノビ ハツラツ!



## オルフィン<sup>®</sup> プラス フロアブル

黒星病をはじめとする  
主要病害を**しっかり防除**。  
高品質で、美しい果実を。



バイエル クロップサイエンス株式会社  
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262  
<https://cropscience.bayer.jp>

お客様相談室 ☎0120-575-078  
(9:00~12:00、13:00~17:00 土・日・祝日を除く)

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

**農薬名**  
オルフィン<sup>®</sup>プラスフロアブル  
**登録番号**  
第23387号  
**試験名**  
BCF-121フロアブル  
**種類名**  
テブコナゾール・フルオピラム水和剤  
**性状**  
類白色水和性粘稠懸濁液体

## はじめに

オルフィン<sup>®</sup>プラスフロアブルは、バイエルクロップサイエンス社が見出したピリジニルエチルベンズアミド系のコハク酸脱水素酵素阻害剤(SDHI)である殺菌剤フルオピラムおよびトリアゾール系のエルゴステロール生合成阻害剤(EBI)である殺菌剤テブコナゾールの混合剤です。

作用機構の異なる2成分を混合することにより、幅広い種類の作物病害に効果を示します。

## オルフィン<sup>®</sup>プラスフロアブルの特長

### ① 作用機構の異なるSDHI剤とEBI剤との混合剤です。

有効成分は、新規ピリジニルエチルベンズアミド系SDHI殺菌剤のフルオピラムと幅広い抗菌スペクトラムと優れた効果で定評のあるEBI殺菌剤のテブコナゾールです。

### ② 幅広い殺菌スペクトラムを有します。

果樹病害を中心とした多くの糸状菌類による作物病害に安定した効果を示します。

### ③ 優れた浸透移行性を示します。

どちらの有効成分も、植物体表面から吸収され組織内に浸透し、導管移行します。

### ④ 予防効果に優れ、治療効果も示します。

予防効果のみならずいくつかの病害で治療効果も確認されています。

### ⑤ 耐雨性が高い薬剤です。

耐雨性が高く、気象の変動にも柔軟に対応できます。

### ⑥ 汚れが少なく使いやすいフロアブル製剤です。

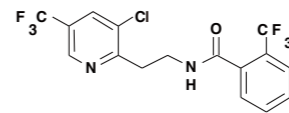
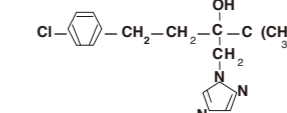
すもも、おうとう、あんずなどの薬剤の汚れが気になる作物に適しています。

## もくじ

はじめに/特長	2
有効成分名および物理的・化学的性状等/安全性(製剤)/適用病害および使用方法	3
作用機構/殺菌スペクトラム/2つの有効成分の浸透移行性	4
フルオピラムの予防効果・治療効果/オルフィンプラスの効果	5
防除効果(新農薬実用化試験)および病害の発生病害と上手な使い方(なし)	5
防除効果(新農薬実用化試験)および病害の発生病害と上手な使い方(りんご)	6
防除効果(新農薬実用化試験)および病害の発生病害と上手な使い方(なし)	8
防除効果(新農薬実用化試験)および病害の発生病害と上手な使い方(もも)	9
防除効果(新農薬実用化試験)および病害の発生病害と上手な使い方(おうとう)(うめ)(すもも)	10
防除効果(新農薬実用化試験)および病害の発生病害と上手な使い方(あんず)/混用薬害事例/品種薬害事例	11
新農薬実用化試験成績概評	12-15

※この技術資料に掲載されている試験における散布回数と登録の内容の使用回数が異なる場合があります。

## 有効成分名および物理的・化学的性状等

有効成分名	フルオピラム	テブコナゾール
成分量	17.7%	17.7%
化学名	N-[2-[3-クロロ-5-(トリフルオロメチル)-2-ピリジニル]エチル]-α,α,α-トリフルオロ-ο-トルアミド	(RS)-1-p-クロロフェニル-4,4-ジメチル-3-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イルメチル)ペンタン-3-オール
構造式		
分子量	396.72	307.82
水溶解度(20℃)	16mg/ℓ(pH6.7)	32mg/ℓ
蒸気圧	1.2x10 <sup>-6</sup> Pa(20℃)	1.7x10 <sup>-6</sup> Pa(20℃)
水/オクタノール分配係数(log Pow)	3.3(24℃)	3.7(20℃)
作用機構 FRACコード	C2:複合体IIコハク酸脱水素酵素阻害コード7	G1:ステロール生合成におけるC14位の脱メチル化酵素阻害コード3

## 安全性(製剤)

毒性(製剤) 普通物\* (\*「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に該当しないものを指している通称)

急性経口毒性(ラット)	LD <sub>50</sub> >2,000mg/kg
急性経皮毒性(ラット)	LD <sub>50</sub> >2,000mg/kg
皮膚刺激性(ウサギ)	刺激性なし
眼刺激性(ウサギ)	中等度刺激性
皮膚感作性(マウス)	感作性なし

### 水産動植物への影響

ニジマス	LC <sub>50</sub> (96h)	21.7mg/ℓ
オオミジンコ	EC <sub>50</sub> (48h)	56.9 mg/ℓ
藻類	ErC <sub>50</sub> (0-72h)	17.7mg/ℓ
	NOECr(0-72h)	2.44mg/ℓ

## 適用病害および使用方法

(りんご、なし、もも、ネクタリン、うめ、小粒核果類(うめを除く)、おうとうの抜粋) (2019年5月現在の登録)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	10アール当り使用液量(ℓ)	使用時期*	使用回数*			使用方法
					本剤	テブコナゾール	フルオピラム	
りんご	うどんこ病 黒点病 黒星病 赤星病 斑点落葉病 モニリア病	2,000~3,000	200~700	7日	3回	3回	3回	散布
	灰色かび病 褐斑病	2,000						
なし	赤星病 輪紋病	3,000	200~700	前日	3回	3回	3回	散布
	黒星病 黒斑病	2,000~3,000						
	褐色斑点病	2,000						
もも ネクタリン うめ	灰星病 黒星病	3,000						
小粒核果類 (うめを除く) おうとう	灰星病							

\*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前日数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

### 使用上の注意事項

- 本剤は貯蔵中に分離することがありますので、使用に際しては容器をよく振って下さい。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきって下さい。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節して下さい。
- はくさい、だいこんに対して薬害を生じるおそれがありますので、付近にある場合はかからないよう注意して下さい。
- りんごに使用する場合、品種「つがる」は開花期までの散布で果そう葉に褐点を生じるおそれがありますので注意して下さい。
- 蚕に対して影響がありますので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

### 安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないよう注意して下さい。
- 本剤は眼に対して刺激性がありますので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするともに衣服を交換して下さい。

## 作用機構

2つの有効成分が病原菌の重要な器官に作用します。



**フルオピラム:SDHI剤**  
コハク酸脱水素酵素阻害 (SDHI, Succinate-dehydrogenase inhibitor)

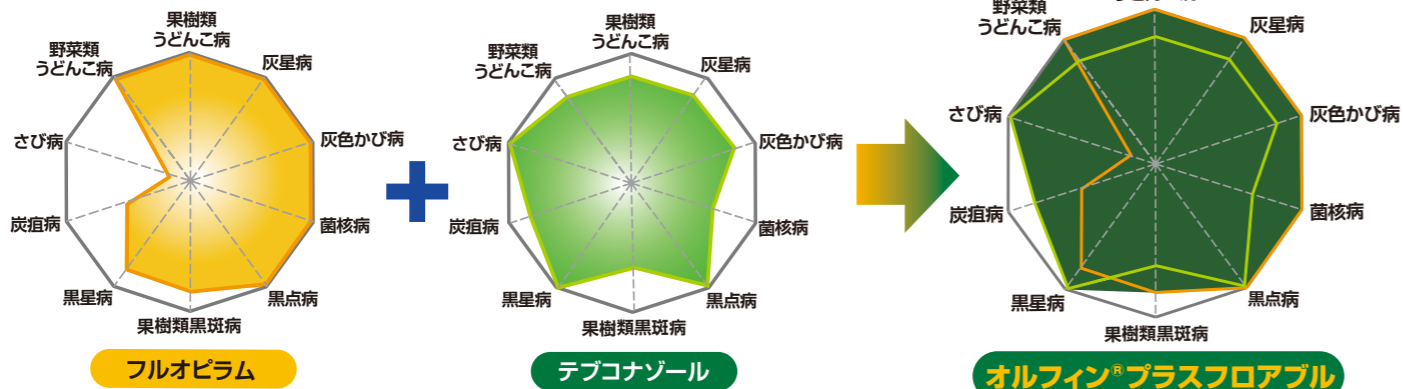
ミトコンドリアにおける電子伝達系の複合体IIのコハク酸脱水素酵素を阻害し、病原菌の菌糸伸長、胞子形成、胞子発芽、発芽管伸長などを妨げます。

**テブコナゾール:EBI剤**  
エルゴステロール生合成阻害 (EBI, Ergosterol biosynthesis inhibitor)

植物病原真菌(カビ)の膜構成主要成分であるエルゴステロールの生合成系を阻害し、細胞膜及び細胞壁形成不全を起こします。

## オルフィン® プラスの殺菌スペクトラム

2つの有効成分を混合することで、スペクトラムが広がります。



## 2つの有効成分の浸透移行性

どちらの有効成分も浸透移行性(導管移行)を有し、植物体の広範囲に行き渡り作物を保護します。

**フルオピラム 有効成分**

植物のワックス層を素早くなじみ、ワックス層で徐々に拡散し組織内に浸透する。

葉の断面イメージ

りんご切り枝:フルオピラム

1日後 2日後 7日後

14°Cでラベルしたフルオピラムを切り枝基部に塗抹処理した。処理直後より移行し、7日後には切り枝全体に移行した。

**テブコナゾール 有効成分**

植物のワックス層を透過し、素早く組織内に浸透する。

葉の断面イメージ

りんご切り葉:テブコナゾール

3日後 7日後 14日後

切り葉の基部に14°Cでラベルしたテブコナゾールを滴下した。処理7日後にはほぼ全体に拡散した。

## フルオピラムの予防効果・治療効果(灰色かび病)

**散布後接種**

無処理区 接種24時間後

処理区 接種24時間後

灰色かび病菌の胞子が発芽し、菌糸が縦横に伸長している。

殆どの胞子の発芽が抑制されている。一部の発芽した胞子も発芽管が萎縮し、発芽管の伸長阻害が確認できる。

**散布前接種**

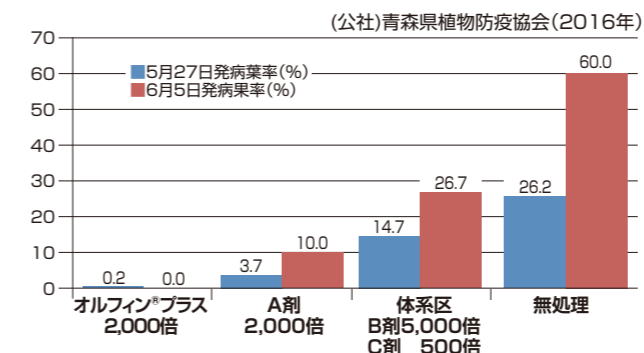
接種20時間後に感染成立を確認してからフルオピラムを散布処理した。発芽管が萎縮し、伸長阻害が確認できる。

接種20時間後処理

試験場所: バイエルクロップサイエンスAG モンハイム(2013年)

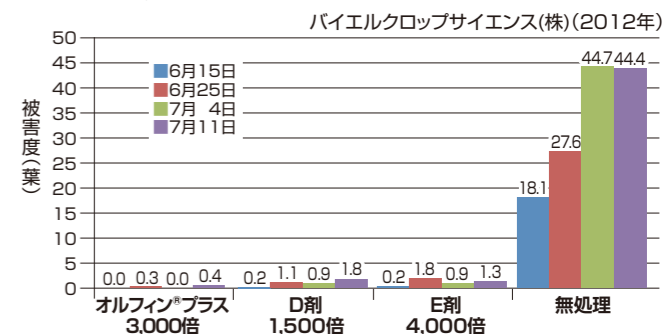
## 残効性

### ●リンゴうどんこ病



品 種:ふじ 発生状況:中発生(葉)、多発生(果実)  
散 布:5月2日(開花直前)、13日(落花直後)  
調 査:5月27日(葉)、6月5日(果実)

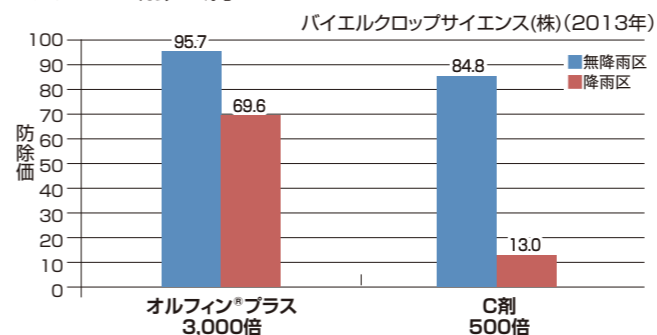
### ●ナシ黒星病



品 種:幸水 発生状況:多発生 散 布:5月3日、13日、23日、6月2日、15日  
調 査:6月15日、25日、7月4日、11日(最終散布26日後)

## 耐雨性試験

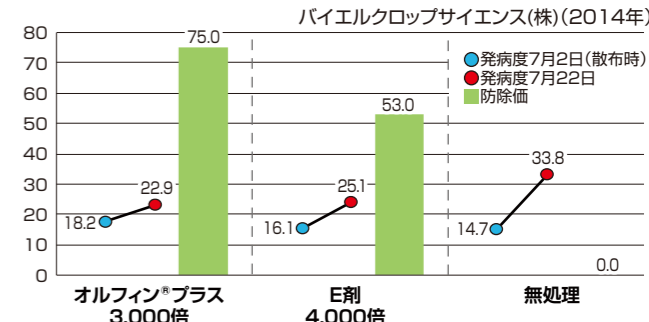
### ●リンゴ黒星病



品 種:王林(切枝) 散 布:5月11日  
降雨処理:散布後1時間風乾し、降雨強度40mm/時間で1時間処理  
接 種:噴霧接種(リンゴ黒星病菌胞子懸濁液、風乾1.5時間後)  
調 査:6月13日

## 病害発生後散布による効果

### ●ナシ黒星病

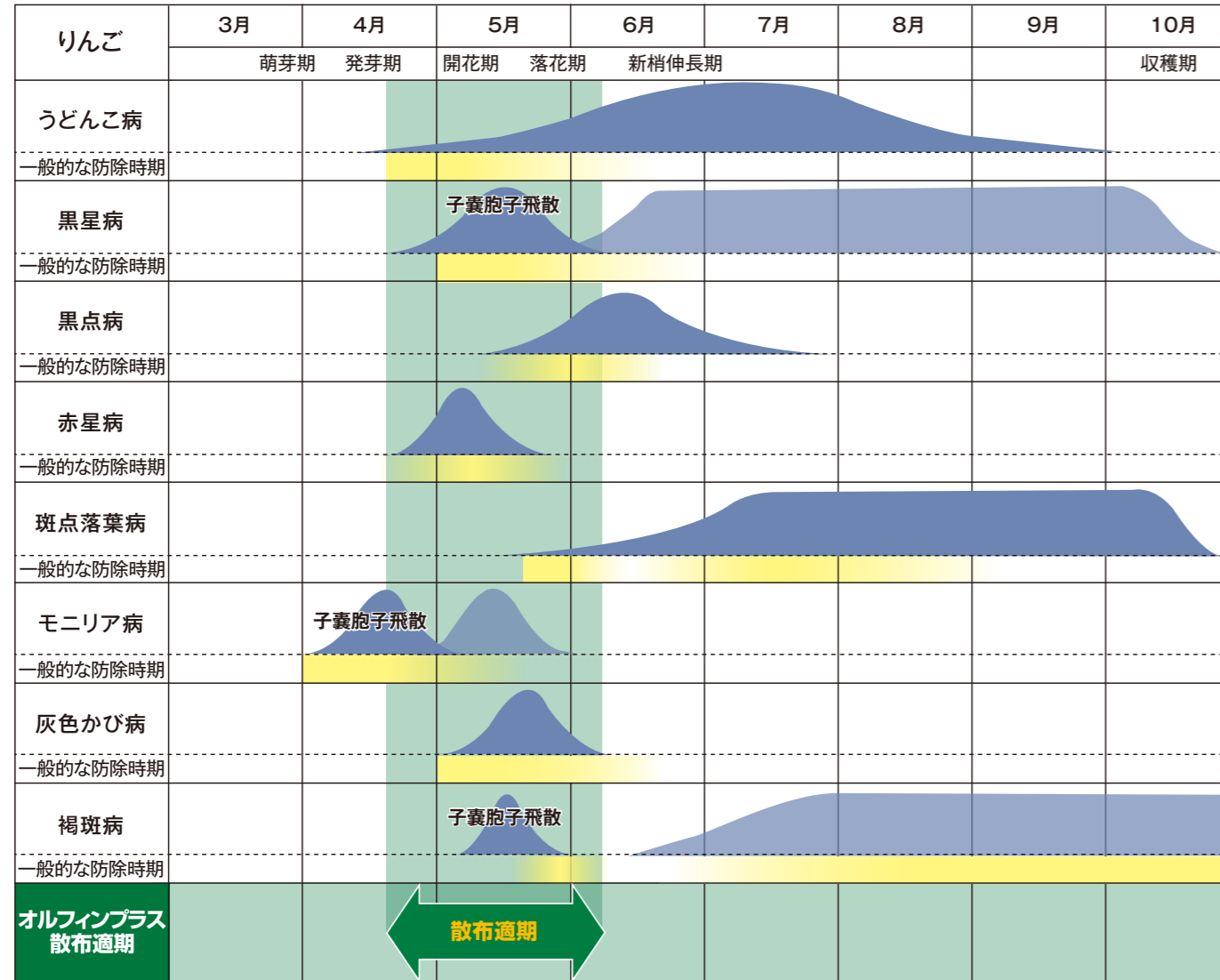


品 種:幸水 試験区1樹/区(10新梢の全葉調査)  
散 布:7月2日 調 査:7月2日、22日  
\*7月2日と22日の発病度の差を病斑進展率とし、病斑進展率より防除値を求めた。

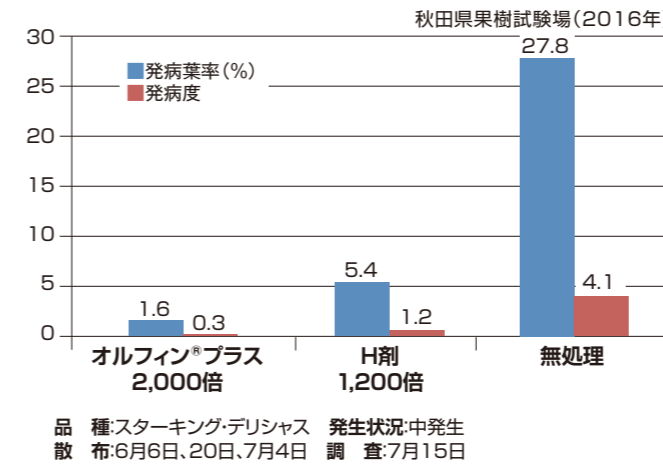
りんご

りんごの病害発生消長と上手な使い方

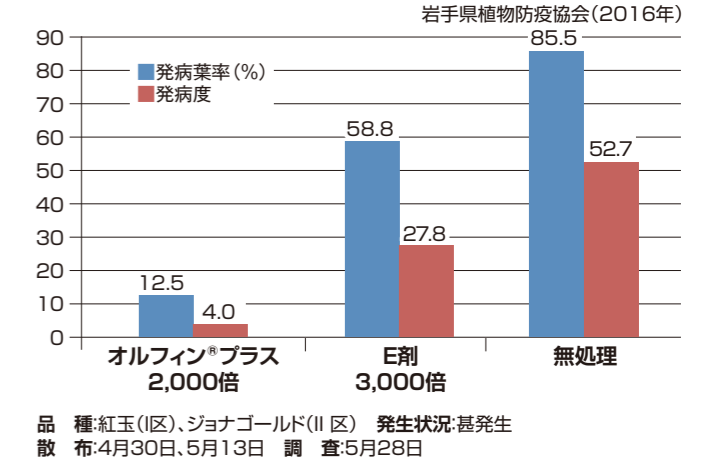
- オルフィン®プラスフロアブルは、りんごの主要病害に幅広く効果を発揮します。
- 開花期前後は多くの病害の重点防除時期です。適用病害の幅が広い本剤で取りこぼしのない防除を!!
- 浸透移行性に優れ長い残効性を示します。防除の難しいうどんこ病、黒星病、灰色かび病の発生も許しません。



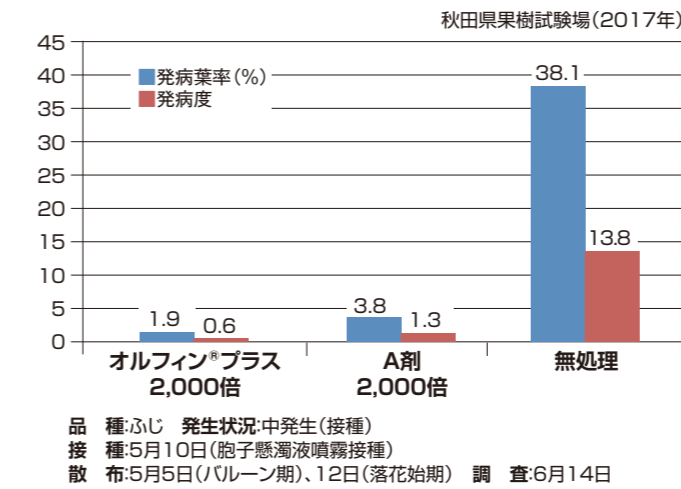
●リンゴ斑点落葉病防除効果



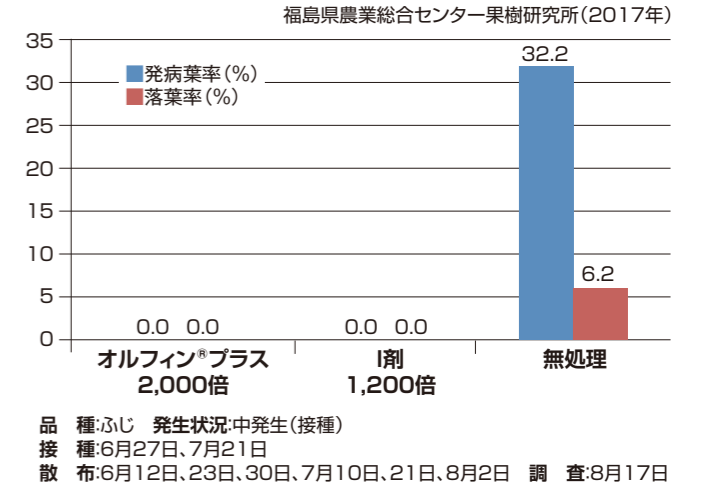
●リンゴうどんこ病防除効果



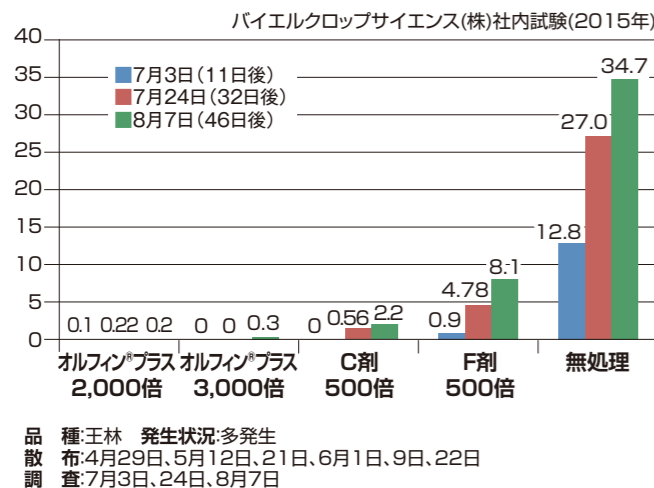
●リンゴ灰色かび病防除効果



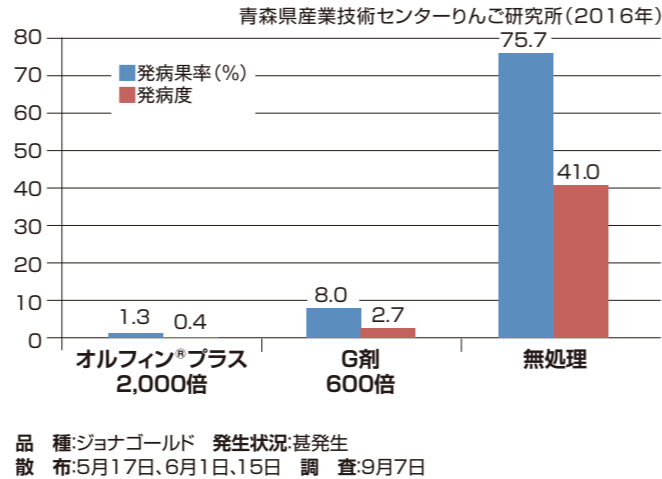
●リンゴ褐斑病防除効果



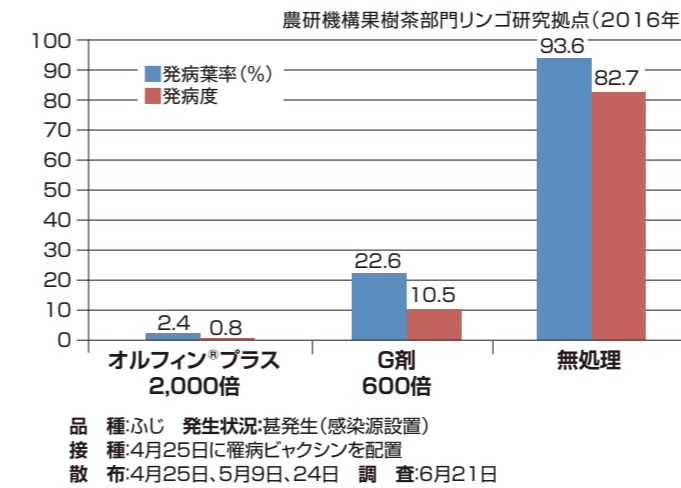
●リンゴ黒星病防除効果



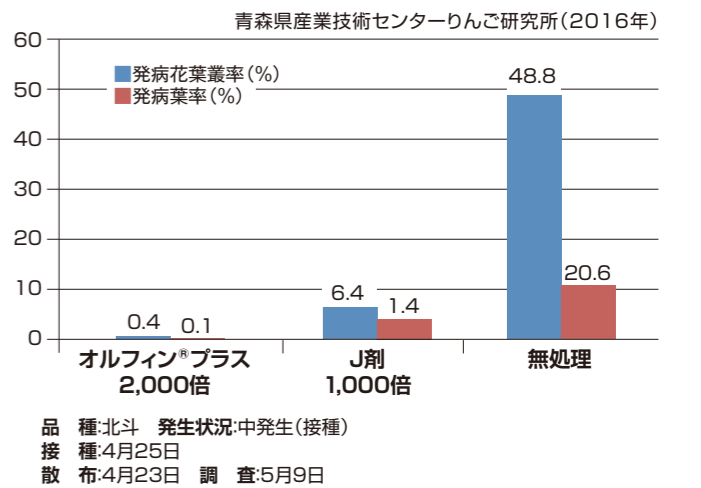
●リンゴ黒点病防除効果



●リンゴ赤星病防除効果



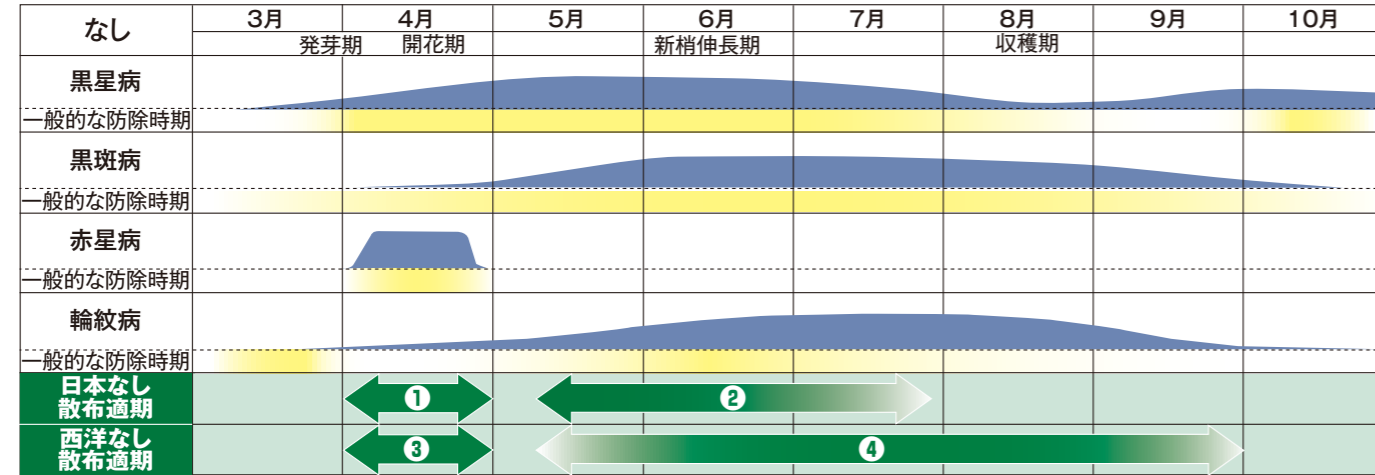
●リンゴモニリア病予防効果



なし

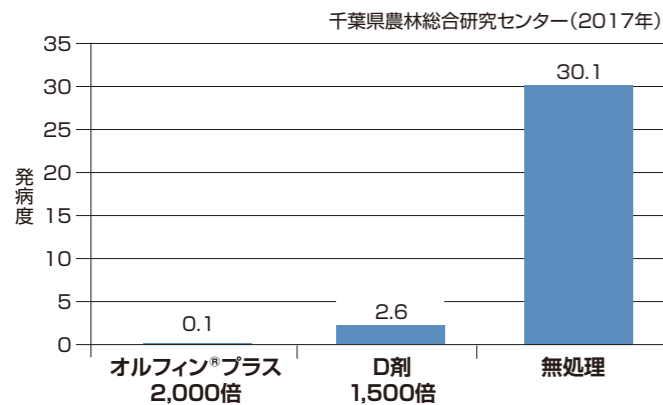
なしの病害発消長と上手な使い方

- 開花期:開花期前後の予防散布で、黒星病、黒斑病、赤星病の発生をしっかりと抑えます。
- 幼果期～新梢伸長期:浸透移行性に優れるため、葉の病害や果実が発生する黒星病、黒斑病、輪紋病の発生をしっかりと抑えます。



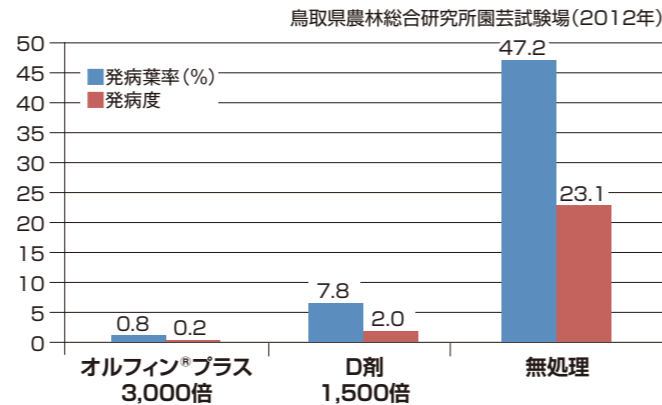
①: 黒星病、黒斑病、赤星病の防除適期 ②: 黒斑病、輪紋病、(黒星病)の防除適期 ③: 黒星病、黒斑病、赤星病、輪紋病防除適期 ④: 黒斑病、輪紋病の防除適期

●ナシ黒星病防除効果



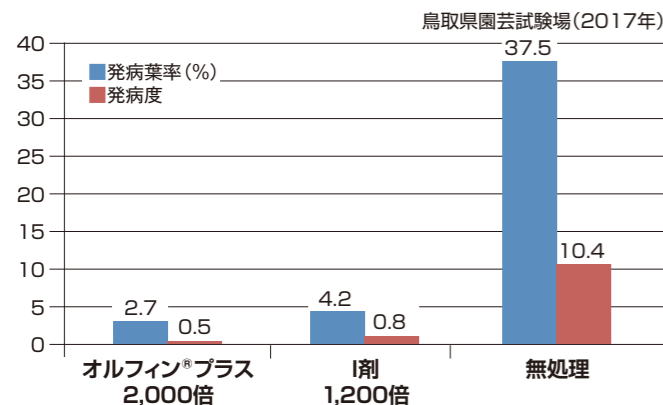
品 種:長十郎 発生状況:多発生  
散 布:4月24日、5月1日、11日、22日、6月1日 調 査:6月12日

●ナシ黒星病防除効果



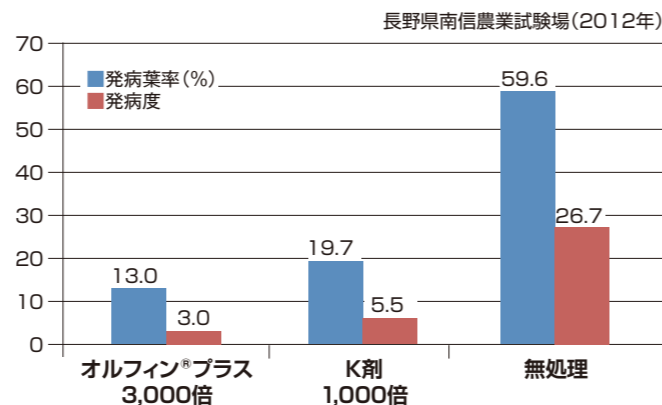
品 種:幸水 発生状況:中発生  
散 布:4月16日、5月1日、16日、30日 調 査:6月7日

●ナシ黒斑病防除効果



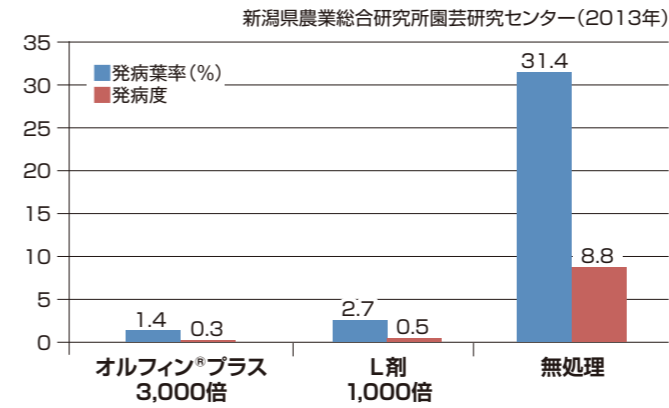
品 種:二十世紀 発生状況:中発生  
散 布:4月24日、5月3日、15日、26日、6月6日 調 査:6月16日

●ナシ黒斑病防除効果



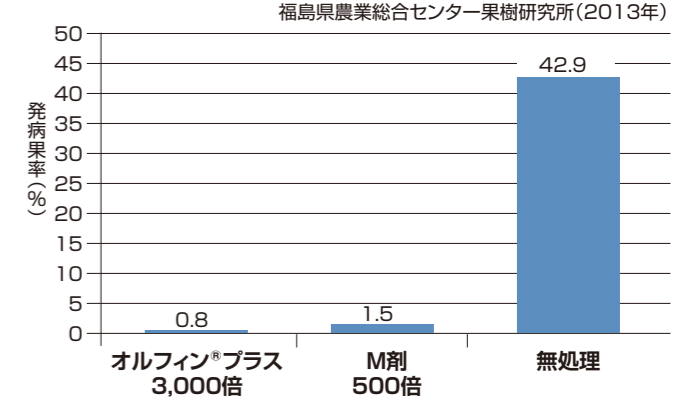
品 種:二十世紀 発生状況:中発生  
散 布:5月10日、24日、6月7日、21日、28日、7月11日 調 査:7月27日

●ナシ赤星病防除効果



品 種:新興 発生状況:中発生  
散 布:4月16日、23日、5月1日 調 査:6月4日

●ナシ輪紋病防除効果

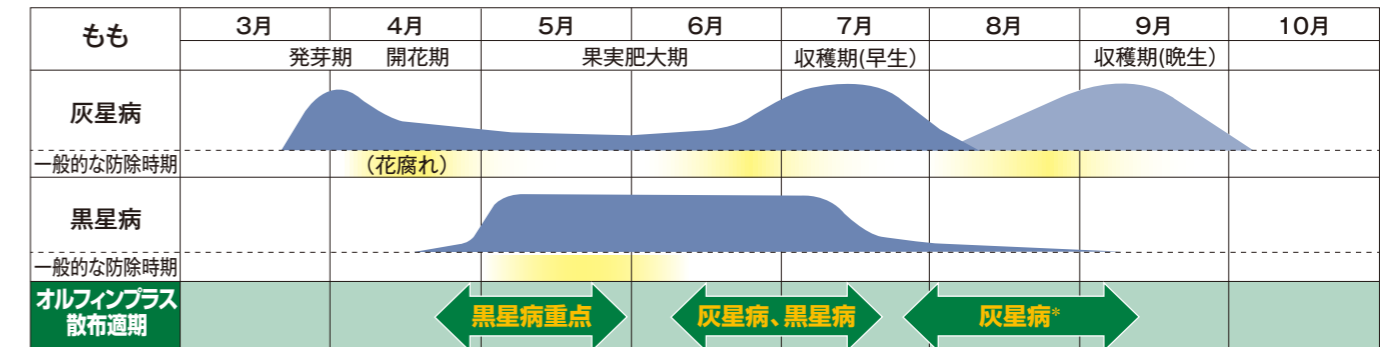


品 種:幸水 発生状況:中発生  
散 布:6月10日、20日、7月1日、10日、19日 調 査:9月12日(貯蔵10日後)

もも

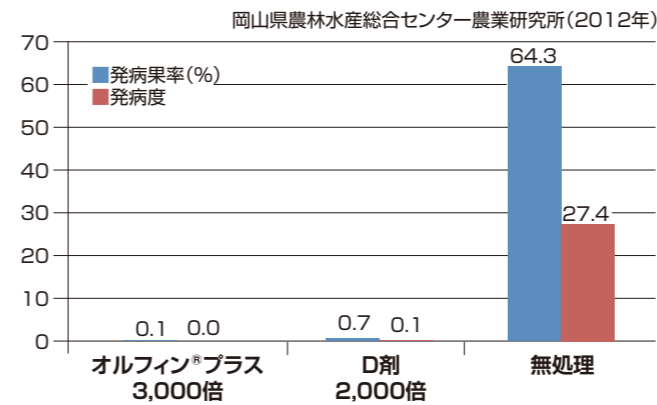
●ももの病害発消長と上手な使い方

- 灰星病には、開花期前後の散布および収穫20日前頃から収穫前の散布が有効です。
- 収穫前日まで使え、貯蔵中の灰星病の発生を抑えます。 ●黒星病には、5月初旬から6月初旬の散布が有効です。



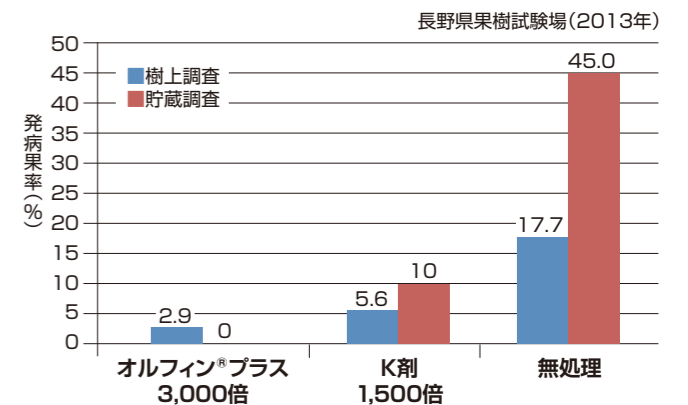
\*晩生品種:除袋後の防除

●モモ黒星病防除効果



品 種:白鳳 発生状況:多発生  
散 布:5月11日、21日、6月4日 調 査:7月4日

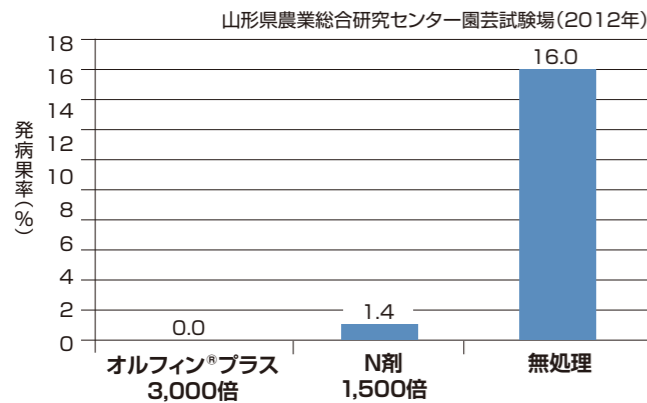
●モモ灰星病防除効果



品 種:川中島白桃 発生状況:樹上・中発生、貯蔵・多発生  
散 布:8月3日、12日、22日 調 査:8月26日(樹上)、9月2日(貯蔵)

おうとう

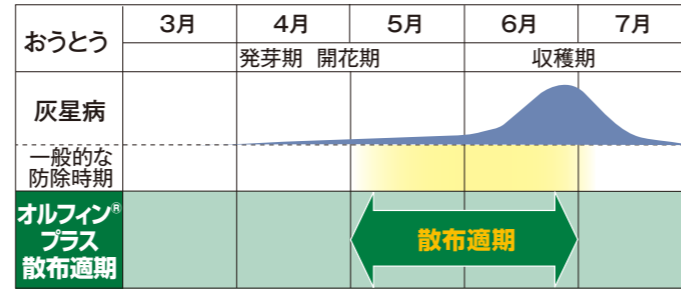
●オウトウ灰星病防除効果



品 種:紅秀峰/アオバザクラ 発生状況:中発生  
散 布:6月6日、15日、24日(着色期) 調 査:7月3日

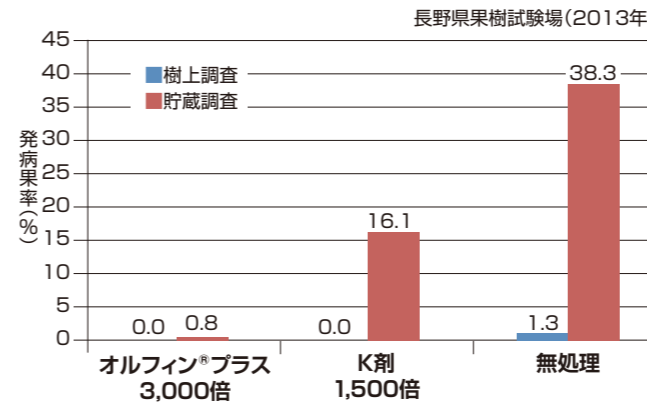
●おうとうの病害発生消長と上手な使い方

- 灰星病防除は発生前から発生初期の防除が有効です。
- 着色期以降の散布でも、汚れが少なく安心です。



あんず

●あんず灰星病防除効果

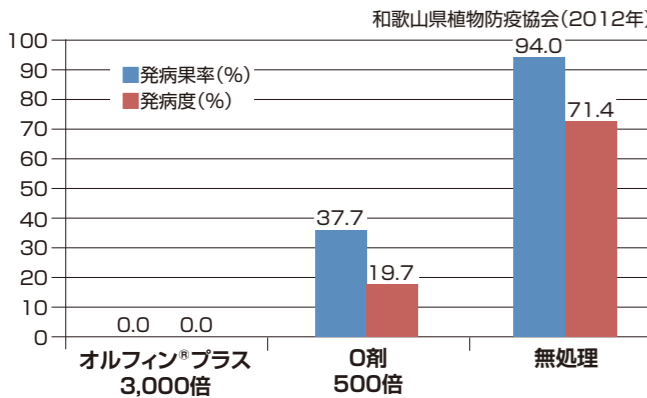


品 種:信州サワー 発生状況:樹上・極少発生、貯蔵(接種)・中発生  
散 布:6月10日、20日、27日 調 査:7月1日(樹上)、8日(貯蔵)

- 収穫前日まで使え、貯蔵中の灰星病の発生を抑えます。
- 収穫間際の散布でも、果実の汚れが少なく安心です。

うめ

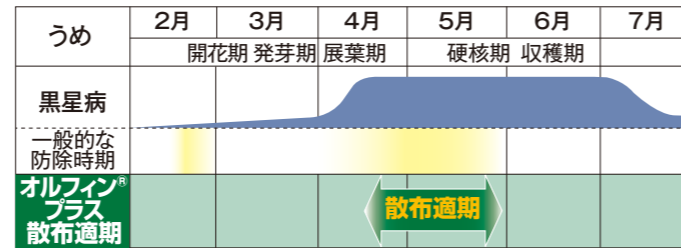
●ウメ黒星病防除効果



品 種:小粒南高 発生状況:甚発生  
散 布:4月12日、25日、5月10日、22日 調 査:6月8日

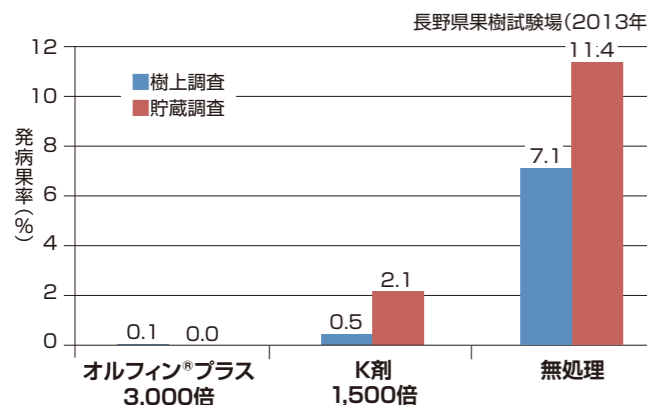
●うめの病害発生消長と上手な使い方

- 黒星病に対する効果が高いため、品質の高い果実の収穫が期待できます。
- 果実の汚れが少なく安心です。



すもも

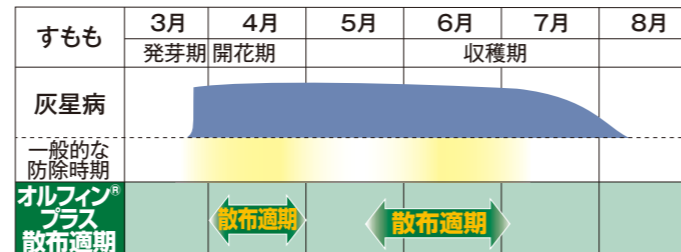
●すもも灰星病防除効果



品 種:サンブルー 発生状況:少発生(接種)  
散 布:8月16日、28日、9月7日 調 査:9月13日(樹上)、9月21日(貯蔵)

●すももの病害発生消長と上手な使い方

- 灰星病の防除は、発生前から発生初期の予防的散布が有効です。
- 収穫間際の散布でも、果実の汚れが少なく安心です。



混用例

殺虫剤	りんご	なし	おうとう	もも	すもも	ネクタリン	うめ
MR-ジョーカー水和剤		●					
アーデント水和剤						●	
アーデントフロアブル			●			●	
アクトラ顆粒水溶剤		●					
アディオフロアブル			●				
アディオ水和剤			●				●
アドマイヤー顆粒水和剤	●	●		●	●	●	●
アドマイヤー水和剤	●	●		●	●	●	●
アブロードフロアブル			●		●	●	●
ウララDF		●			●	●	●
エルサン水和剤						●	●
オリオン水和剤40		●				●	●
カスケード乳剤	●			●			●
カネマイトフロアブル		●	●				
キラップフロアブル	●						
コテツフロアブル		●		●			
コルト顆粒水和剤		●					
サイアノックス水和剤		●		●	●	●	
サムコフロアブル	●	●		●	●	●	
スカウトフロアブル			●		●	●	●
スタークル顆粒水溶剤			●	●			●
スターマイトフロアブル			●				●
スプラサイド水和剤		●	●				●
スプラサイド乳剤			●				●
スミチオン水和剤40		●					●
スミチオン乳剤		●					●
ダースVDF	●	●			●		
ダイアジノン水和剤34		●	●	●	●	●	
ダニゲッターフロアブル	●	●	●		●		
ダニサライフロアブル		●	●		●		
ダニトロンフロアブル		●					
ダントツ水溶剤			●	●			
ディアナWSG			●				
テルスター水和剤				●			
テルスターフロアブル			●				
ノーモルト乳剤				●			
バイオマックスDF	●						
バイスロイドEW			●				
ハチハチフロアブル		●		●			●
バリアード顆粒水和剤	●		●	●	●	●	●
フェニックス顆粒水和剤				●	●		
フェニックスフロアブル			●				
モスピラン顆粒水溶剤					●		●
モスピラン水溶剤		●	●	●		●	
ラービン水和剤75		●					
ロムダンフロアブル	●						

殺菌剤	りんご	なし	おうとう	もも	すもも	ネクタリン	うめ
ICボルドー66D				●			●
アグリマイシン100					●		●
アグレプト水和剤					●		
イオウフロアブル							●
インダーフロアブル							●
オーシャイン水和剤							●
カスミン液剤							●
スコア顆粒水和剤							●
スターナ水和剤				●			●
デランフロアブル		●					●
トレノックス/チオノックフロアブル	●	●					
フリンフロアブル25						●	
ベルコート水和剤					●		●
マイコシールド水和剤				●		●	●
ロブラール水和剤						●	

品種事例

- りんご 秋田紅ほっぺ、王林、きおう、紅玉、シナノスイート、ジョナゴールド、スターキング・デリシャス、つがる\*、ふじ、北斗
- なし あきあかり、あきづき、王秋、かおり、幸水、ゴールド二十世紀、彩玉、新興、長十郎、南水、新高、二十世紀、にっこり、豊水
- 西洋なし ラ・フランス、ル・レクチエ
- もも 黄金桃、川中島白桃、ジャンボあかつき、ちよひめ、白秋、白鳳、橋場白鳳、日川白鳳、ゆうぞら
- ネクタリン エンパイヤ、秀峰
- うめ 小粒南高、白加賀、南高、竜峡小梅
- すもも アーリーリバー、大石早生、サンブルー、ソルダム、太陽、ビューティー
- あんず 信州大実、信州サワー、信山丸
- おうとう さおり、佐藤錦、高砂、紅秀峰、南陽

\*: 開花期までの散布で果そう葉に褐点を生じるおそれがあるので注意する。

※上記薬剤および品種は、オルフィン®プラスフロアブルとの使用によって、薬害が認められなかった事例です。なお、気象条件、栽培条件、生育ステージ、品種などにより異なる結果が得られることも予想されます。上記事例は、使用の安全性を保障するものではなく、あくまで参考事例としてお取り扱い下さい。

りんご

年度	作物名(品種) 栽培条件	病害虫名	実施機関	圃場	発生 状況	処 理 条 件			対照薬剤名 (処理条件)	効 果				
						濃度・量	処理法	回数		処理年月日(時期) (判定した調査時期)	対 対照	対 無 処理	判 定	薬 害
28	りんご(ふじ) 20年生	黒星病	青森	露地	中	×2,000 15ℓ/樹	散布	3	5/1,13,26 (6/15)	G剤 ×600	B	A	A	-
28	りんご(ふじ/M.9) 10年生	黒星病	長野果	露地	少	×2,000 15ℓ/樹	散布	4	4/20,30,5/12,23 (6/7)	P剤 ×800	B	B	B	-
28	りんご(北斗) 23年生	うどんこ病	青森	露地 (ポット)	少	×2,000 2ℓ/樹	散布	3	5/5,16,29 (6/20)	E剤 ×3,000	A	A	A	-
28	りんご(紅玉, ジョナゴールド) 紅玉:54年生, ジョナゴールド:わい性樹40年生	うどんこ病	岩手植	露地	甚	×2,000 紅玉:50ℓ/樹 ジョナ:12ℓ/樹	散布	2	4/30(開花直前) 5/13(落花期) (5/28)	E剤 ×3,000	A	A	A	-
28	りんご(北斗) 25年生	モニリア病 (予防)	青森	露地 (ポット)	中 (接種)	×2,000 2ℓ/樹	散布	1	4/23 (5/9)	J剤 ×1,000	A	A	A	-
28	りんご(ふじ) わい性樹28年生	モニリア病 (予防)	岩手植	露地	多	×2,000 5ℓ/樹	散布	1	4/13 (4/20~5/8)	J剤 ×1,000	C	C	C	-
28	りんご(ふじ/M.9) 20年生	モニリア病 (予防)	日植防秋田	露地	少	×2,000 4~6ℓ/樹	散布	2	4/21,27 (5/10)	Q剤 ×1,500	B	A	B	-
28	りんご(ふじ) 23年生	モニリア病 (治療)	青森	露地 (ポット)	中 (接種)	×2,000 2ℓ/樹	散布	1	5/2 (5/2,9)	R剤 ×1,000	B	A	A	-
28	りんご(つがる) わい性樹28年生	モニリア病 (治療)	岩手植	露地	多	×2,000 4ℓ/樹	散布	1	4/23 (5/2:花腐れ/樹, 散布9日後: 花腐れ率, 分生子形成率)	R剤 ×1,000	B	A	A	-
28	りんご(ジョナゴールド) 25年生	黒点病	青森	露地	甚	×2,000 7~8ℓ/樹	散布	3	5/17,6/1,15 (9/7)	G剤 ×600	A	A	A	-
28	りんご(つがる) わい性樹28年生	黒点病	岩手植	露地	多	×2,000 5ℓ/樹	散布	4	5/29,6/8,19,29 (8/23)	P剤 ×800	B	A	A	-
28	りんご(ふじ) わい性樹35年生	黒点病	秋田果	露地	中 (接種)	×2,000 20ℓ/樹	散布	4	5/9,19,29,6/10 (8/4)	G剤 ×600	B	A	A	-
28	りんご(紅玉) 5~53年生	黒点病	長野果	露地	少	×2,000 10ℓ/樹	散布	3	5/20,29,6/11 (8/9)	G剤 ×600	B	A	B	-
28	りんご (スターキングテリジャス) 36年生	斑点落葉病	青森	露地	極少	×2,000 20ℓ/樹	散布	4	7/1,15,29,8/12 (9/6)	M剤 ×500	?	?	?	-
28	りんご (スターキングテリジャス) 普通樹36年生	斑点落葉病	秋田果	露地	中	×2,000 20ℓ/樹	散布	3	6/6,20,7/4 (7/15)	H剤 ×1,200	A	A	A	-
28	りんご(ふじ/M.26) 普通樹36年生	斑点落葉病	山形園	露地	中	×2,000 30ℓ/樹	散布	5	6/14,27,7/11,25,8/8 (8/22)	M剤 ×500	A	B	B	-
28	りんご(ふじ) 38年生/M.26	斑点落葉病	石川能登	露地	中	×2,000 15ℓ/樹	散布	5	6/3,14,23,7/7,20(果実肥大期) (8/3)	M剤 ×500	A	B	B	-
28	りんご(ふじ) 19年生	赤星病	青森	露地 (ポット)	多 (接種)	×2,000 2ℓ/樹	散布	3	4/20,30,5/10 (5/30)	G剤 ×600	A	A	A	-
28	りんご(ふじ) 11年生	赤星病	果樹茶	露地 (ポット)	甚 (接種)	×2,000 1.5ℓ/樹	散布	3	4/25,5/9,24 (5/20,6/21)	G剤 ×600	A	A	A	-
28	りんご(ジョナゴールド) 17年生	赤星病	日植防茨城	露地	多 (接種)	×2,000 100~165ℓ/10a	散布	3	4/29,5/12,23 (7/4)	G剤 ×600	A	A	A	-
28	りんご(ふじ) 17年生/M.26	灰色かび病	青森植	露地	甚 (接種)	×2,000 約5ℓ/樹	散布	2	5/2,13 <6/13>	A剤 ×2,000	B	A	A	-
28	りんご(やたか) 17年生 わい性樹	灰色かび病	秋田果	露地	少 (接種)	×2,000 5ℓ/樹	散布	2	5/3,6 <6/30>	A剤 ×2,000	B	A	B	-
29	りんご(ふじ) 18年生/M.26	灰色かび病	青森植	露地	中 (接種)	×2,000 約600ℓ/10a	散布	2	5/7,17 <6/14>	A剤 ×2,000	B	A	A	-
29	りんご(ふじ) 37年生樹 M.26/マルバ台	灰色かび病	秋田果	露地	中 (接種)	×2,000 20ℓ/樹	散布	2	5/5,12 <6/14>	A剤 ×2,000	B	A	A	-
29	りんご(ふじ) 18年生/M.26	褐斑病	青森植	露地	中 (接種)	×2000 約700ℓ/10a	散布	5	7/8,21,8/5,19,9/1 <10/3>	M剤 ×500	A	A	A	-
29	りんご(ふじ) 10年生	褐斑病	福島果	露地	中	×2,000 15ℓ/区	散布	6	6/12,23,30,7/10,21, 8/2 <8/17>	I剤 ×1,200	B	A	A	-
29	りんご(秋星) 10年生	褐斑病	石川(果)	露地	中	×2,000 5ℓ/樹	散布	6	6/6,16,28,7/10,20,8/2 <8/18>	M剤 ×500	C	B	B	-
29	りんご(王林) 25年生樹	褐斑病	日植防山梨	露地	多	×2,000 4ℓ/樹	散布	6	7/3,13,27,8/10,24 <9/11>	M剤 ×500	B	A	A	-

年度	作物名(品種) 栽培条件	病害虫名	実施機関	圃場	発生 状況	処 理 条 件			対照薬剤名 (処理条件)	効 果				
						濃度・量	処理法	回数		処理年月日(時期) (判定した調査時期)	対 対照	対 無 処理	判 定	薬 害
24	りんご(北斗) 19年生	うどんこ病	青森	ポット ガラス室	多 (接種)	×3,000 2ℓ/ポット	散布	3	5/7,17,6/2 (6/14)	E剤 ×3,000	A	A	A	-
24	りんご(秋田紅ほっぺ) ポット植え 3年生	うどんこ病	秋田果	ガラス 温室	中	×3,000 5ℓ/樹	散布	3	5/14,24,6/4 (6/14)	E剤 ×3,000	A	A	A	-
24	りんご(紅玉) 普通樹	うどんこ病	長野果	露地	中	×3,000 十分量	散布	3	4/24,5/5,17 (5/30)	E剤 ×3,000	A	A	A	-
24	りんご(つがる/M.26) 15年生	黒点病	青森り県南	露地	甚	×3,000 5~6ℓ/樹	散布	3	5/21,6/5,19 (8/30)	G剤 ×600	A	A	A	-
24	りんご(紅玉) 35年生	黒点病	果樹研リンゴ	露地	多	×3,000 13ℓ/樹	散布	3	5/24,6/8,22 (8/30)	G剤 ×600	A	A	A	-
24	りんご(紅玉) 15年生 成木 矮性	黒点病	エスコ(長野)	露地	中 (接種)	×3,000 4~6ℓ/樹	散布	4	5/21(落花11日後) 5/30(20日後) 6/11(32日後) 6/21(42日後) (8/28)	G剤 ×600	A	A	A	-
24	りんご(ふじ) 17年生	黒星病	青森り	露地	中	×3,000 10ℓ/樹	散布	3	5/9,21,6/5 (6/18,9/21)	G剤 ×600	A	A	A	-
24	りんご(ふじ) 12年生	黒星病	青森植	露地	中	×3,000 500ℓ/10a	散布	4	5/13,24,6/7,22 (7/4)	G剤 ×600	B	A	A	-
24	りんご(ふじ) 17年生	黒星病	秋田果鹿角	露地	多	×3,000 10ℓ/樹	散布	5	5/7,17,28,6/11,25 (6/26)	G剤 ×600	B	A	A	-
24	りんご(ふじ) わい性樹 5年生	黒星病	長野果	露地	少	×3,000 十分量	散布	4	5/2,13,23,6/3 (6/25,7/5)	P剤 ×800	B	A	B	-
25	りんご(ふじ) 16年生	赤星病	青森	露地 ポット	少 (接種)	×3,000 2ℓ/ポット	散布	3	5/7,17,27 (6/24)	G剤 ×600	A	A	A	-
25	りんご(ふじ) 8年生	赤星病	果樹研リンゴ	露地 ポット	中 (接種)	×3,000 1.3ℓ/樹	散布	3	5/13,28,6/11 (7/3)	G剤 ×600	A	A	A	-
25	りんご(北斗) 20年生樹	赤星病	日植防茨城	露地	甚 (接種)	×3,000 十分量	散布	3	4/16,25,5/7 (5/27)	G剤 ×600	A	A	A	-
25	りんご(ふじ) 4年生	赤星病	日植防山梨	露地	中	×3,000 十分量	散布	3	4/8,19,29 (5/28)	G剤 ×600	A	A	A	-
25	りんご (スターキングテリジャス/M9) 17年生	斑点落葉病	岩手	露地	中	×3,000 9~10ℓ/樹	散布	4	6/25,7/5,8,23 (8/2)	M剤 ×500	B	B	B	-
25	りんご(ふじ) 17年生	斑点落葉病	秋田果鹿角	露地	少	×3,000 10ℓ/樹	散布	4	5/13,29,6/10,24 (7/8)	G剤 ×600	A	A	A	-
25	りんご(ふじ) 35年生 無袋栽培	斑点落葉病	石川県農林 総合研究セ ンター能登	露地	多	×3,000 15ℓ/樹	散布	5	6/13,24,7/8,19,8/2, (8/16)	M剤 ×500	A	A	A	-
25	りんご(王林) 22年生	斑点落葉病	日植防山梨	露地	少	×3,000 十分量	散布	4	5/22,6/3,14,27 (7/16)	M剤 ×500	B	A	B	-
25	りんご(北斗) 23年生樹	モニリア病 (予防)	青森り	露地 ポット	中 (接種)	×3,000 2ℓ/ポット	散布	1	5/7 (5/23)	J剤 ×1,000	B	A	A	-
25	りんご(ふじ) 21年生	モニリア病	青森り	露地 ポット	多 (接種)	×3,000 2ℓ/ポット	散布	1	5/14 (5/14,20)	R剤 ×1,000	B	A	A	-
25	りんご(ふじ) わい性樹, 25年生	モニリア病 (予防)	岩手植	露地	中	×3,000 5ℓ/樹	散布	2	4/17(芽出当時) 4/23(展葉期) (5/13)	Q剤 ×1,500	B	A	A	-
25	りんご (つがる)わい性樹,25年生 (きおう)わい性樹,10年生	モニリア病 (治療)	岩手植	露地	甚	×3,000 5ℓ/樹	散布	1	5/5 (5/14:花腐れ/樹, 散布12日後: 花腐れ率, 分生子形成率)	R剤 ×1,000	B	A	A	-
25	りんご(ふじ/M.9) 17年生	モニリア病 (予防)	日植防秋田	露地	少	×3,000 4~6ℓ/樹	散布	2	5/8,14 (5/27)	G剤 ×1,500	B	A	B	-

なし

年度	作物名(品種) 栽培条件	病害虫名	実施機関	圃場	発生 状況	処 理 条 件				対照薬剤名 (処理条件)	効 果			
						濃度・量	処理法	回数	処理年月日(時期) (判定した調査時期)		対 対照	対無 処理	判定	葉害
29	なし(二十世紀) 17年生強剪定樹	黒斑病	鳥取園	露地	中	×2,000 7~10ℓ/樹	散布	5	4/24, 5/3,15,26, 6/6 <6/16>	I剤 ×1,200	B	A	A	-
29	なし(二十世紀) 24年生	黒斑病	大分果宇	露地	少	×2,000 15ℓ/樹	散布	5	5/1,12,22, 6/1,12 <6/30>	I剤 ×1,200	A	A	A	-
29	なし(幸水) 16~28年生樹	黒星病	茨城園	露地	中	×2,000 0.6~2ℓ/樹	散布	4	5/2,11,19,29 <6/9>	S剤 ×1,500	B	A	A	-
29	なし(長十郎) 50年生樹 立木仕立て	黒星病	千葉	露地	多	×2,000 600~ 700ml/樹	散布	5	4/24, 5/1,11,22, 6/1 <6/12>	S剤 ×1,500	A	A	A	-
29	なし(幸水) 22年生 強剪定樹	黒星病	鳥取園	露地	少	×2,000 7~10ℓ/樹	散布	5	4/13,24, 5/3,15,26 <6/5>	D剤 ×1,500	A	A	B	-
29	なし(豊水) 11年生	黒星病	大分果宇	露地	中	×2,000 15ℓ/樹	散布	4	4/4,14,24, 5/4 <5/17>	D剤 ×1,500	A	B	B	-
24	なし(二十世紀) 33年生	黒斑病	新潟園	露地	少	×3,000 400ℓ/10a	散布	4	6/8,15,26, 7/3 (7/10)	I剤 ×1,200	B	A	A	-
24	なし(二十世紀) 24~25年生	黒斑病	長野南信	露地	中	×3,000 約2ℓ/樹	散布	6	5/10,24, 6/7,21,28, 7/11 (7/27)	A剤 ×1,000	A	A	A	-
24	なし(二十世紀) 40年生	黒斑病	鳥取園	露地	甚	×3,000	散布	5	5/23,6 6/4,14,25,28 (7/9)	I剤 ×1,200	C	B	B	-
24	なし(幸水) 5年生	黒星病	長野南信	露地	少	×3,000 約2ℓ/樹	散布	4	5/1,14,29, 6/11 (6/27)	D剤 ×1,500	B	C	C	-
24	なし(幸水) 17年生	黒星病	奈良植	露地	少	×3,000 300ℓ/10a	散布	5	4/27, 5/8,18,28, 6/7 (6/26)	D剤 ×1,500	B	A	B	-
24	なし(幸水) 17年生	黒星病	鳥取園	露地	中	×3,000	散布	4	4/16, 5/1,16,30 (6/7)	D剤 ×1,500	A	A	A	-
24	なし(幸水) 13年生	黒星病	徳島果	露地	中	×3,000 約10ℓ/樹	散布	5	4/24, 5/8,18,29, 6/6(6/20)	D剤 ×1,500	A	A	A	十*
25	なし(新興) 34年生	赤星病	新潟園	露地	中	×3,000 400ℓ/10a	散布	3	4/16,23 5/1 (6/4)	L剤 ×1,000	B	A	A	-
25	なし(二十世紀) 16年生	赤星病	日植防茨城	露地	多 (接種)	×3,000 十分量	散布	3	4/1,11,22 (5/10)	L剤 ×1,000	A	A	A	-
25	なし(幸水) 4年生	赤星病	日植防山梨	露地	中 (接種)	×3,000 十分量	散布	4	4/4,15,22, 5/12 (5/28)	L剤 ×1,000	A	A	A	-
25	なし(幸水) 14年生	赤星病	徳島果	露地	中	×3,000 約4ℓ/樹	散布	3	4/3,12,23 (5/23)	E剤 ×4,000	B	A	A	-
25	なし(幸水) 31年生	輪紋病	福島果	露地	中	×3,000	散布	5	6/10,20, 7/1,10,19 (9/12)	M剤 ×500	B	A	A	-
25	なし(幸水) 15年生	輪紋病	茨城園	露地	少 (接種)	×3,000 約250ℓ/10a	散布	5	6/3,17,28, 7/8,18 (9/2)	M剤 ×500	D	D	D	-
25	なし(幸水)30年生 (ラ・フランス)23年生	輪紋病	長野南信	露地	少 (接種) 多	×3,000 約15ℓ/樹	散布	4	6/3,17, 7/1,12 「幸水」(8/29~9/4) 「ラ・フランス」(10/2~11/1)	M剤 ×500	B D	B C	B C	-
25	なし(幸水) 30年生	輪紋病	福岡	露地	少	×3,000 約7ℓ/樹	散布	5	5/22, 6/5,18, 7/2,16 (8/5~12)	M剤 ×500	C	C	C	-

\*:軽微な葉の褐点

もも

年度	作物名(品種) 栽培条件	病害虫名	実施機関	圃場	発生 状況	処 理 条 件				対照薬剤名 (処理条件)	効 果			
						濃度・量	処理法	回数	処理年月日(時期) (判定した調査時期)		対 対照	対無 処理	判定	葉害
25	もも(日川白鳳) 16年生	灰星病	山梨果	露地	中	×3,000 40ℓ/区	散布	2	6/18,28 (7/8)	K剤 ×1,500	A	A	A	-
25	もも(川中島白桃) 15年生	灰星病	長野果	露地	樹上・中 貯蔵多	×3,000 十分量	散布	3	8/3,12,22 (8/26, 9/2)	K剤 ×1,500	A	A	A	-
25	もも(川中島白桃) 7年生	灰星病	香川府中	露地	中	×3,000 20ℓ/樹	散布	3	5/31, 6/10,25 (貯蔵7日後)	K剤 ×1,500 20ℓ/樹散布	A	A	A	-
24	もも(白鳳) 6~28年生	黒星病	岡山農研	露地	多	×3,000 400ℓ/10a	散布	3	5/11,21,6/4 (7/4)	D剤 ×2,000	B	A	A	-
24	もも(白秋,黄金桃) 12年生無袋栽培	黒星病	大分果宇	露地	中	×3,000 450ℓ/10a	散布	5	5/30, 6/9,25,28 7/10 (8/1, 8/24)	D剤 ×2,000	B	A	A	-
25	もも(ゆうぞら) 5年生	黒星病	福島果	露地	中	×3,000 20ℓ/区	散布	4	5/13,23, 6/4,13 (7/26)	D剤 ×2,000	B	A	A	-
25	もも(白鳳) 7~29年生	黒星病	岡山農研	露地	中	×3,000 400ℓ/10a	散布	3	5/15,23, 6/7 (7/8~9)	D剤 ×2,000	A	A	A	-
25	もも(日川白鳳) 4年生	黒星病	日植防山梨	露地	無 (接種)	×3,000 十分量	散布	4	5/5,21,31, 6/14 (6/30)	D剤 ×2,000	?	?	?	-

おうとう

年度	作物名(品種) 栽培条件	病害虫名	実施機関	圃場	発生 状況	処 理 条 件				対照薬剤名 (処理条件)	効 果			
						濃度・量	処理法	回数	処理年月日(時期) (判定した調査時期)		対 対照	対無 処理	判定	葉害
24	おうとう(紅秀峰) 16年生	灰星病	山形園	露地 (雨除け)	中	×3,000 十分量 20ℓ/樹	散布	3	6/6,15,24 (7/3)	N剤 ×1,500	A	A	A	-
24	おうとう(佐藤錦) 18年生	灰星病	日植防秋田	露地	小	×3,000 15~20ℓ/区	散布	3	5/26,6/5,14 (6/29,7/9)	N剤 ×1,500	B	A	B	-
24	おうとう(佐藤錦, さおり,高砂) いずれも13年生	灰星病	日植防山梨	露地	中	×3,000 5ℓ/樹	散布	3	5/11,21,31 (6/9)	K剤 ×1,500	B	A	A	-

すもも

年度	作物名(品種) 栽培条件	病害虫名	実施機関	圃場	発生 状況	処 理 条 件				対照薬剤名 (処理条件)	効 果			
						濃度・量	処理法	回数	処理年月日(時期) (判定した調査時期)		対 対照	対無 処理	判定	葉害
24	すもも(ソルダム) 15年生	灰星病	山梨果	露地	多	×3,000 30ℓ/樹	散布	3	6/28, 7/9,18 (7/30)	K剤 ×1,500	A	A	A	-
24	すもも(大石早生) 11年生	灰星病	長野植 (須坂)	露地	甚 (接種)	×3,000 400ℓ/10a	散布	3	6/14,21,28 (7/6,15)	K剤 ×1,000	A	A	A	-
25	すもも(太陽) 5年生	灰星病	群馬農技セ (果樹)	露地	中	×3,000 約10ℓ/樹	散布	2	6/28, 7/25 (8/29, 9/6)	K剤 ×1,500	B	A	B	-
25	すもも(サンブルーン) 12年生	灰星病	長野果	露地	少 (接種)	×3,000 十分量	散布	3	8/16,28, 9/7 (9/13,21)	K剤 ×1,500	A	A	A	-
25	すもも(ソルダム) 25年生	灰星病	日植防山梨	露地	少	×3,000 十分量	散布	3	6/18,28, 7/8 (7/12)	K剤 ×1,500	A	A	A	-

うめ

年度	作物名(品種) 栽培条件	病害虫名	実施機関	圃場	発生 状況	処 理 条 件				対照薬剤名 (処理条件)	効 果			
						濃度・量	処理法	回数	処理年月日(時期) (判定した調査時期)		対 対照	対無 処理	判定	葉害
24	うめ(小粒南高) 10年生	黒星病	和歌山植	露地	甚	×3,000	散布	4	4/12,25, 5/10,22 (6/8)	O剤 ×500	A	A	A	-
25	うめ(南高) 9年生	黒星病	日植防茨城	露地	多	×3,000 十分量	散布	3	3/28, 4/8,18 (6/26)	O剤 ×500	B	C	C	-
25	うめ(南高,白加賀) 4年生	黒星病	日植防山梨	露地	少 (接種)	×3,000 十分量	散布	3	4/8,18,29 (6/17)	O剤 ×500	B	A	B	-
25	うめ(小粒南高) 10年生	黒星病	和歌山植	露地	多	×3,000 10~15ℓ/樹	散布	4	4/13,16, 5/1,13 (6/6)	O剤 ×500	B	A	A	-

あんず

年度	作物名(品種) 栽培条件	病害虫名	実施機関	圃場	発生 状況	処 理 条 件				対照薬剤名 (処理条件)	効 果			
						濃度・量	処理法	回数	処理年月日(時期) (判定した調査時期)		対 対照	対無 処理	判定	葉害
25	あんず(信州サワー) 12年生	灰星病	長野果	露地	樹上・極 少貯蔵・中 (接種)	×3,000 十分量	散布	3	6/10,20,27 (7/1,8)	K剤 ×1,500	A	A	A	-
25	あんず(信州大実) 22年生	灰星病	日植防山梨	露地	樹上・無 貯蔵・多 (接種)	×3,000 十分量	散布	2	5/15,24 (6/16)	K剤 ×1,500	B	A	A	-